

憧れの阿弥陀岳南稜。とは言え、憧れてたのは夏の南稜で、まさか冬に登れるとは考えていませんでした。ところが、冬山3年目にしてチャレンジできることに・・・

舟山十字路をまだ暗い5:30にスタート。比較的暖かく歩きやすい中、淡々と林道を歩き、南稜の取り付きへ。アイゼンを装着し、稜線への急な坂を登ると辺りが明るくなってきた。立場岳に着く頃には、権現岳の方向から日差しがまぶしい。今日は予報よりも天候が良さそうだ。雄大な展望を期待して、樹林帯の長い登りをひたすら歩く。

青ナギにて南稜核心部が目の前に広がる。ここはテン泊適地とのこと。次回はここで夜を過ごしてみたい。無名峰を超えると樹林帯が終わり、岩稜帯が始まる。この辺りでハーネル、ヘルメットを装備し、ピッケルに加え、バイルも準備する。バイルの扱いは初めてのため、携行方法、持ち方等を教わる。P1、P2を超え、核心のP3ルンゼに到着。

冬の登攀は初めてで、戸惑いながらもなんとかセルフを取り、ロープを準備する。1ピッチ目、谷内さんがリードで登り、ビレイさせていただく。厚い手袋をして二本のロープでのビレイはロープの繰り出しが忙しくとても大変だということが分かった。今日はあまり寒くないから良いが、寒いとさらに大変だろうなあ。コールがかかり、結城さん、岩田の順でルンゼを登る。ルンゼは雪が着いており、あまり滑ることはなく登りやすい。2ピッチ目谷内さんリードで結城さんがビレイ。安定しない雪の上でロープが絡まりそうになるのを繰り出すのが大変だ。また、ルンゼ内は風が吹き上げており、少し寒い。本当に寒い日は耐えられそうにない。登攀にかかる前に寒さを想定して着込むことが重要だな。2ピッチ目も登りは問題なく、写真を撮る余裕も。稜線まで出て、ロープをまとめ山頂を目指す。

阿弥陀岳山頂は登山者が多い。特に北稜かららしきパーティが多かった。

下りは御小屋尾根をどんどん下り、予定より早く舟山十字路到着。

【コースタイム】

舟山十字路 5:30 - 南稜稜線 6:25 - 立場岳 8:00 - 青なぎ 8:20 - 無名峰 8:50 - P3ルンゼ取り付き 9:30 - 阿弥陀岳 11:00 - 御小屋山 12:40 - 舟山十字路 13:25

写真1 青ナギにて南稜をバックに



写真2 P3ルンゼ上



写真3 P3ルンゼを登る



写真4 阿弥陀岳山頂にて

